

# 平戸市 議会だより



## せせらぎの中にたたずむ憩いの場

紙漉の里ふれあい施設の園田さんと利用者皆さん

### イベント情報

- 5月10日(日) 午後1時～ 糸かけアートワークショップ
- 5月16日(土) 蜜蝋ラップと手作りハーブソルトワークショップ
- 6月6日(土) ほたる祭り

※詳しくは、紙漉の里公式Instagramをご覧ください(16ページ参照)

Vol.93

令和8年(2026年)5月1日発行

### もくじ—INDEX—

- 2月臨時会
- 3月定例会
- 2～8 今議会ここに注目! 常任委員会レポート  
議会改革特別委員会設置
- 9 審議された案件と結果
- 10～15 一般質問
- 16 平戸の子カラ



平戸市議会ホームページ



バックナンバー

平戸市議会だより～とかいせん～ Vol.93 2026.5

編集・発行: 平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1-508-3

TEL22-9170

FAX22-3427

E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp

このコーナーでは、平戸市で活躍する人や団体にスポットをあて、ご紹介します。



## 紙漉の里ふれあい施設 清流にたたずむ憩いの場で 肌で感じる里山の四季

紙漉の里ふれあい施設(以下「紙漉の里」)では、市内外の家族連れや子ども会などの皆さんが、さまざまな体験を通して自然に親しんでいる。今回、管理者の園田孝さんと話を伺った。

ふるさとの里山を活かしたい  
高校卒業後、長年東京で暮らし、園田さん。「平戸は歴史・自然・文化など、さまざまな『すごい』が凝縮したまち。日本中探しても、こんな場所は珍しい。都会の皆さま



沢のぼり



※引用元: 紙漉の里ふれあい施設公式Instagram

んにも知ってもらいたい」と、平戸へ帰郷し民宿を始めた。  
令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大で、紙漉の里も利用者が激減。園田さんは「子どもに遊ばせたい」と、指定管理者に名乗りを上げた。  
**せせらぎの中で四季折々の体験を**  
紙漉の里は、安満岳の麓、神曾根川のほとりに位置し、涼しげな清流と里山風景の中で四季折々の自然・文化を体験できる施設。  
園田さんが指定管理者になってからは、沢のぼり、そうめん流しのほか、紙漉き、しいたけ菌打ち・収穫など新たに体験メニューを増やしている。「今年、施設自慢の水車のそばにヤマメの稚魚を放流し、将来は釣りができるようにする。ここで平戸の自然を存分に体験してほしいです」と語った。



紙漉の里ふれあい施設  
指定管理者 園田 孝 さん

公式 Instagram▶



### 広報特別委員会

委員長	池田 稔巳
副委員長	岡 康則
委員	井元 宏三
委員	岡村 文雄
委員	竹山 俊郎
委員	針尾 直美
委員	山内信太郎

**編集後記**  
吹き抜ける風が心地よく感じる今日このごろ、5月の爽やかな気候の中、平戸市でもさまざまなイベントが開催されます。豊かな自然にも恵まれ、多くの観光客も訪れています。市民の皆様も、素晴らしい自然を再度見直し、満喫してください。  
今回掲載しております2月臨時会では物価高騰対策を、3月定例会では新年度予算を審議しました。どちらも生活に関する重要な案件です。  
議会だよりには、皆さんに知っていただきたい情報を載せています。広報ひらりと併せて読んでいただき、市政についてより詳しくご理解いただきたいと思います。  
(岡 康則)

平戸市議会 検索 ▶ 市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。



## 総務厚生委員会（2月臨時会）

令和7年度平戸市一般会計補正予算（第7号）  
○ひとり親家庭等物価高対応子育て応援手当給付事業

### 広く子育て世帯を支援

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰に直面する低所得のひとり親家庭などの生活を支援する。児童扶養手当支給対象児童を養育する父母などへ、対象児童1人につき2万円支給する。

#### 総務厚生委員会での主な論議

繰越事業となっているが、申請期間はいつになるのか。


対象者（令和7年12月末基準）に申請不要で支給するが、令和8年3月31日までに新たに児童扶養手当支給対象となった人にも給付するため、繰越事業となっている。

資源エネルギー庁が推奨する省エネ性能エアコンの市内事業者からの購入を補助するもの。令和9年3月末時点で65歳以上の高齢者のみの世帯や65歳以上と障がい者で構成されている世帯へ、設置費用を含む対象経費の2分の1（限度額10万円）を補助する。

#### 総務厚生委員会での主な論議

市民への周知や申請方法はどのようになるのか。

3月初めに各世帯へ回覧やホームページで周知する。申請は、4月以降に購入した際の、設置前後の写真添付など、できるだけ簡単にできるように考えている。



目標年度2027年度  
省エネ基準達成率 100%以上

詳しくはこちら▶  
(平戸市ホームページ)

#### 総務厚生委員会での主な論議

選挙看板の設置個所の中には、見づらい場所に設置しているところもある。「設置しやすい場所」ではなく「見やすい場所」に設置してほしい。

見づらいといった要望があった場合には、できる限り対応している。引き続き、そういった要望があれば、個別に対応したい。



令和8年2月臨時会  
2月5日（木）



令和8年3月定例会  
2月24日（火）～3月18日（水）

令和7年度平戸市一般会計補正予算（第7号）  
○高齢者世帯等省エネエアコン導入支援事業

### 高齢世帯へ省エネエアコンを

（専決）令和7年度一般会計補正予算（第6号）  
○衆議院議員総選挙費

### 見やすい場所に選挙看板の設置を

## 産業建設文教委員会（2月臨時会）

令和7年度平戸市一般会計補正予算（第7号）  
○沿岸漁業燃油高騰対応支援事業

### 出漁を促す直接の燃油購入支援

燃油価格の高騰で操業に影響を受けている市内沿岸漁業者に対し、国の令和7年度補正予算「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、漁業用燃油購入費の一部を支援するもの。

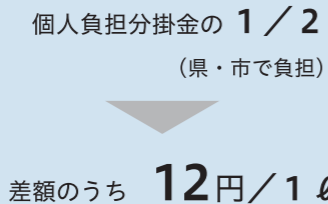
#### 産業建設文教委員会での主な論議

これまでセーフティネットの掛金に対する支援が主だったが、今回1リットルに対し12円の補助となった経緯は。

これまでセーフティネット事業の掛金として、漁業者個人負担分の掛金の2分の1を県と市で補助していた。しかし、漁業者の皆さんから、燃油価格の高騰で出漁を控える声や遠方への出漁が難しくなったとの意見があったため、今回はセーフティネットの掛金に対する支援よりも直接的な燃油支援を考え、燃油価格上昇分からセーフティネットの補填額を差し引いた差額の一部支援として、12円の直接補助を行うこととした。



薄香漁港



「(仮称)ひらどくらし応援プレミアム商品券(デジタル併用版)」と「(仮称)地元事業者応援デジタル商品券」の2種類の商品券を販売予定であり、「(仮称)ひらどくらし応援プレミアム商品券(デジタル併用版)」は紙とデジタルとの併用、「(仮称)地元事業者応援デジタル商品券」についてはデジタルのみということで、2種類の商品券はいずれもデジタルでの販売が予定されている。

#### 産業建設文教委員会での主な論議

現在は紙からデジタルに変わる過渡期でもあり、デジタル化を推進する必要がある一方、デジタルを使えない高齢者や身体に不自由を抱える方々などにも商品券を利用してもらわなければならない。

誰ひとり取り残さず市民全員に行き渡るよう「平戸プレミアム商品券実行委員会」だけに任せるのではなく、行政側も積極的に関与しながら申請方法や使い道について丁寧に市民へ説明する必要があるが、どのように対応するのか。

行政側も「平戸プレミアム商品券実行委員会」のメンバーであるため、十分に協議を重ねながら推進する。また、多様な機会や媒体を活用して周知を図り、周知漏れがないよう徹底していく。

### 誰ひとり取り残さない丁寧な説明・周知を

令和7年度平戸市一般会計補正予算（第7号）  
○物価高騰対応くらし応援事業

※6ページに追加補正に関する論議を掲載

令和8年度平戸市一般会計予算(歳入)

○財政調整基金繰入金

基金減少の解決策を

Q

令和8年度当初予算編成での財政調整基金の取り崩しは14億1,200万円。令和7年度も約9億8,600万円取り崩す見込み。基金の減少が著しい中、今後どう予算を編成していくのか。

A

当初予算編成時のシーリングなど経常経費削減に努めたが、物価高騰・人件費の上昇などから、令和8年度も多額の基金繰入金を計上しなければ予算を組めなくなった。このままでは、令和6年度末には約41億円あった基金残高が令和8年度末には17億8,000万円ほどになると見込まれる。第3次財政健全化計画をできる限り早く策定し、歳出でもこれまで以上に費用対効果を求め、事業を見直し、公共施設の適正配置なども考えていきたい。

総務厚生委員会での主な論議

総務厚生委員会での主な論議

Q

計画期間40年間で公共施設更新費用約40%削減を目標としているように、人口減少に伴い更新費用を減らさないと財政的に厳しくなるのでは。耐用年数や利用状況など更新の優先基準を作るべき。

A

同規模で施設を維持する場合、人口減少で市民1人当たりの更新費用が増える。大規模改修や長寿命化で費用を抑えつつ、人口や利用状況から適正規模にするなど、計画を整理したい。

総務厚生委員会での主な論議

Q

ファミリーサポートセンター事業は、子育て支援の依頼と提供が地区ごとに偏りがあり、提供会員が減少しているとのことだが、もっと市民に事業内容を周知すべきでは。

A

ホームページや広報紙、乳幼児健診時のチラシ配りや声かけなど周知に努めているが、さらに周知を図りたい。

Q

病児保育事業は、市内に施設がなく利用者が少ない。安心して子育て・仕事ができるよう、受入体制を確保すべき。

A

病状急変などへの対応が保育所などでは難しく事業化に至っていない。引き続き病院などの事業所と協議していく。

適正規模に整理を

令和8年度平戸市一般会計予算  
○公共施設等総合管理計画改定事業

病児保育の受入体制整備と子育て支援策の周知徹底を

令和8年度平戸市一般会計予算  
○地域子ども・子育て支援事業

令和7年度一般会計補正予算

障害者自立支援給付費等事業

Q

障がい者が社会と関わり自立できる体制づくりは重要。障がいの程度に合わせ支援を改善できる部分もあると思う。民生委員などと連携し、寄り添って支援してほしい。

A

相談支援事業所を通じて状況を把握し、障がいの特性や度合いに応じた就労支援につなげたい。

ふるさと応援寄附金推進事業

Q

寄附額減少は「返礼品価格」「地域間競争の激化」「中間事業者変更で評価レビュー削除による返礼品の競争力低下」「PR不足」などが影響しているとのこと。対策として「安定供給可能な返礼品の開発」を挙げているが、まずは返礼品提供事業者のもとにこまめに通い、返礼品の見直しや充実を

なる新たな取り組みは。

A

分団長会の意見から、令和7年度から他地区の訓練に参加可能とした。内容も含め団員が参加しやすい環境をつくりたい。



秋季訓練でのホース延長訓練

令和8年度平戸市営交通船事業会計予算

Q

運航継続には運賃改定せざるを得ないと思うが、令和8年度改定予定か。

A

運賃改定は避けて通れないが、時期や金額は十分に検討する必要がある。

Q

値上げありきではなく、現状と今後の交通船のあり方を、島民へ丁寧に説明し結論を出すべき。

A

島民説明会で運航状況、経営状況を説明し、島民の理解を求めていきたい。

A

職員不足で休止中の自主放送を省力化して復活し、情報発信改善に努める。

市内高等学校支援事業

Q

危険物取扱者や介護職員初任者研修などの受検費用助成に併せ、企業の募集情報も周知し就職につなげてほしい。

A

受検後にどうつなげていくかは重要。高校側とも協議・検討したい。

高齢者いきいきおでかけ支援事業

Q

「移動手段がある」「外出しない」などからおでかけ券を申請せず、利用率は7割前後とのことだが、追加で募集・助成できないか。

A

地域間の利用格差や本来の目的(社会参加・介護予防)以外の買い物や通院などの利用もある。事業の見直しも考えたい。

DX推進事業

Q

デジタルツール活用で

図るべきでは。

A

返礼品に高いレビューが寄せられ、平戸市の応援に繋がる好循環をつくるのが重要。現場を回り、中間事業者や返礼品提供事業者などと連携を一層強化し、返礼品の見直しや開発に取り組む。

令和8年度一般会計予算

北松北部環境組合管理運営事業

Q

7年後にゴミ処理施設更新時期を迎える。維持費が年々増加する中、どう管理・運営するのか。

A

集約化の話があるが、離島も多く県北地域での集約は難しい。一方、平戸市・松浦市での新設は、物価・人件費などの高騰から建設費用が150〜200億円と試算される。「長崎県ごみ処理広域化計画」の方針を見て、新設・現施設の稼働期間の延長などさまざまな観点から協議する。

行政改革事務経費

Q

業務改善支援業務は、外部委託せず、職員間で改善の協議を重ねる方が成果につながるのでは。

A

業務量が多く時間が足りない「手法がわからない」などの理由から改善できていない。外部事業者からの支援でテクニックを学び、職員自ら改善できる体制を構築したい。

CATV施設整備事業

Q

大島のケーブルテレビでは、10年前の運動会など古い映像が放送されている。多額の予算で更新するのなら、地域振興につながる内容を放送すべき。



北松北部クリーンセンター

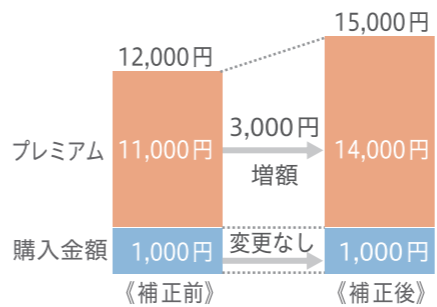
デジタル取扱拡大を

令和7年度平戸市一般会計補正予算  
○物価高騰対応くらし応援事業

Q 昨年、デジタル商品券が導入されたが、取扱店舗が少なかった。取扱店舗を増やす働きかけを。

A 平戸プレミアム商品券実行委員会と協力して働きかけ、デジタル商品券の利用拡大に努める。

2月臨時会で議決されたが、長崎県から「ながさき消費拡大・地元企業応援事業補助金」が追加交付されたため増額補正する。



A

平戸プレミアム商品券実行委員会と協力して働きかけ、デジタル商品券の利用拡大に努める。

Q

空き家・空き店舗を活用し、まち全体を1つのホテルと見立て運営するため、全体が整わないと成り立たない。まずは土日からでも、地域ににぎわいが戻ったと実感できるよう取り組んでほしい。

A

平戸市アルベルゴ・ディフーズ推進協議会の中で、行政も事業者に対しホームページなどの情報発信について厳しく指摘しており、事業者任せにせず、一緒に平戸市全体のPRや、地域との連携強化を図る。また、DMO推進やデジタルノマド(ITを活用し旅をしながら働く人のこと)誘客促進など、他の事業とも連携し成功へと導くよう努める。

産業建設文教委員会での主な論議

Q 生月小学校は、将来的に複式学級化が考えられる。学びやすい環境は重要だが、施設規模は再度検討する必要があるのでは。

A

普通教室については、令和13年度までは単式学級の予定だが、その後の複式学級化まで視野に入れている。また本来、小中学校それぞれに設置すべき技術室、図工室などは共用とし、児童・生徒数の減少を考慮して設計している。計画の小中学校は独立校だが、校舎は繋がっており、将来の統合まで見据え、連携校として取り組む。



完成イメージ

適正規模での建設を

令和8年度平戸市一般会計予算  
○生月小学校校舎改築事業/生月中学校校舎改築事業

Q

生月小学校は、将来的に複式学級化が考えられる。学びやすい環境は重要だが、施設規模は再度検討する必要があるのでは。

A

普通教室については、令和13年度までは単式学級の予定だが、その後の複式学級化まで視野に入れている。また本来、小中学校それぞれに設置すべき技術室、図工室などは共用とし、児童・生徒数の減少を考慮して設計している。計画の小中学校は独立校だが、校舎は繋がっており、将来の統合まで見据え、連携校として取り組む。

本格稼働させる。

森林環境譲与税基金積立金

Q 薪ストーブ購入補助に活用を求める声がある。自治体にはどの程度の裁量が認められているのか。

A 森林環境譲与税の目的は、放置された人工林を保護し災害などを防ぐこと。活用方法は自治体の裁量が認められており、他自治体では薪ストーブ設置に対する補助の例もある。平戸市でも薪ストーブの普及や木質バイオマス利用促進を見据え総合的に検討する。



薪ストーブ

漁業後継者経営支援事業

Q 本事業は、所属する漁

業協同組合が推薦する人であれば、正組合員以外も対象となるのか。

A 令和8年度は45歳未満の正組合員が対象だが、令和9年度以降、45歳未満の漁業専従者で漁業協同組合が漁業後継者と証明する人であれば、正組合員に限らず活用できるよう拡充を検討する。

空き家対策事業

Q 空き家対策について、民間事業者のノウハウを活用する制度「空家等管理活用支援法人補助金」について説明を。

A 空き家セミナーや市内7地区での相談会のほか、所有者の相談に空き家バンク登録や解体補助金を紹介していたが、今後は空き家の利活用や終活など民間事業者から総合的に提案するよう調整する。

地場企業就職促進事業

Q 市内高校の教諭から「平戸市の近くに残りたいと

いう生徒が増えた」と聞いた。地元への就職・進学希望者が一定数いる。

A 従来の企業説明会に加え、生徒の興味・関心を喚起するため、地場企業に就職した同年代の体験談を聞く機会を設けてほしい。企業説明会には地場企業も参加しているので、調整したい。また、市内高校の探求学習の講師として迎えるなど関係部署と連携し検討する。

都市計画図等電子化整備事業

Q 電子化するなら、さまざまなデータを集約し横断的に活用してほしい。

A 市内管内図も電子化し、背景図として活用予定。また、漁港台帳の活用など、各課で幅広く活用を検討している。

令和8年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計予算

Q 現在45%の宿泊施設平

均稼働率を50%へ引き上げる必要がある。夏休み

A 効果的な誘客手法を検討し、指定管理者と連携して過去の宿泊者や関係者などへ営業活動を行い、稼働率向上に努める。



あづち大島いさりびの里

令和8年度平戸市水道事業会計予算

Q 給水収益の減少が続く中、国の基準に基づく繰入金も減額し、極めて厳しい状況下での予算編成と推察する。今後の水道事業を企業会計としていかに維持・継続するのか。

A 人口減少に伴い料金取

令和7年度長崎県和牛能力共進会で平戸市出品牛は優秀な成績を収めた。令和9年度の第13回全国和牛能力共進会の候補牛はどのように選定するのか。

A 候補牛は、優れた血統を重視し選定。令和8年7月ごろまでに選定方法を確定する予定。

木質バイオマス供給施設整備事業

Q 今回整備する施設は、個人宅の伐採木受入など、市民が活用できる拠点を

A 現在、チップパーは平戸市森林組合本所に配置している。整備する施設は、乾燥用貯木スペースの役割を主軸とする計画だが、今後、市内の燃料需要が増加すれば、当該施設へチップ生産体制を移行し

工事請負契約の締結について

入は年々減少し、国からの補助金や地方交付税措置の縮減が見込まれる一方、人件費や物価高騰から各種経費は増加。施設老朽化対策などの予算措置が必要だが、現在は必要最小限の支出にとどめ収支の均衡を維持しており、今後も経費縮減に努める。

Q 平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事は、令和8年4月〜令和9年11月の予定だが、地盤改良などの影響で長期化し、事業費増加の懸念がある。地盤状況は調査結果の確認が必要だが、慎重に調整を。

A すでに地質調査は実施し、地盤改良も予定している。しかし、整地作業の過程で状況が変化した場合、予算の範囲内で適切に対応し、進捗状況を議会へ報告する。

# 審議された案件と結果

令和8年2月臨時会 ○議案 12件 ○報告 1件 ○承認 1件

番号	件名	結果
1	平戸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
2	平戸市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
3	平戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
4	平戸市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
5	平戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
6	令和7年度平戸市一般会計補正予算(第7号)	〃
7	令和7年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃
8	令和7年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃

番号	件名	結果
9	令和7年度平戸市工業団地事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
10	令和7年度平戸市水道事業会計補正予算(第2号)	〃
11	令和7年度平戸市病院事業会計補正予算(第2号)	〃
12	令和7年度平戸市営交通船事業会計補正予算(第3号)	〃

番号	件名	結果
1	専決処分の報告について	報告済

番号	件名	結果
1	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号 令和7年度一般会計補正予算(第6号))	承認

令和8年3月定例会 ○議案 37件 ○報告 1件 ○議案議 1件

番号	件名	結果
13	平戸市営バス事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
14	平戸市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
15	平戸市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
16	平戸市職員旅費支給条例の全部改正について	〃
17	平戸市「やらんば!平戸」応援基金条例の一部改正について	〃
18	平戸市国民健康保険税条例の一部改正について	〃
19	平戸市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	〃
20	平戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
21	平戸市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
22	平戸市平戸温泉給湯センター条例の一部改正について	〃
23	平戸市火入れに関する条例の一部改正について	〃
24	平戸市火災予防条例の一部改正について	〃
25	平戸市企業職員の給与等の種類及び基準に関する条例の一部改正について	〃
26	令和7年度平戸市一般会計補正予算(第8号)	〃
27	令和7年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第4号)	〃
28	令和8年度平戸市一般会計予算	〃
29	令和8年度平戸市国民健康保険特別会計予算	〃
30	令和8年度平戸市後期高齢者医療特別会計予算	〃
31	令和8年度平戸市介護保険特別会計予算	〃
32	令和8年度平戸市農業集落排水事業特別会計予算	〃
33	令和8年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計予算	〃
34	令和8年度平戸市駐車場事業特別会計予算	〃

番号	件名	結果
35	令和8年度平戸市工業団地事業特別会計予算	原案可決
36	令和8年度平戸市水道事業会計予算	〃
37	令和8年度平戸市病院事業会計予算	〃
38	令和8年度平戸市営交通船事業会計予算	〃
39	平戸市過疎地域持続的発展計画の策定について	〃
40	平戸市辺地に係る総合整備計画の変更について	〃
41	平戸市辺地に係る総合整備計画の策定について	〃
42	工事請負契約の変更について ※市道山中・紐差線(大越工区)	〃
43	公有水面埋立免許出願に係る意見について	〃
44	令和7年度一般会計補正予算(第9号)	〃
45	工事請負契約の締結について ※平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事	〃
46	工事請負契約の締結について ※普通河川ヨラス川支川河川災害復旧工事(1工区)	〃
47	工事請負契約の締結について ※普通河川ヨラス川支川河川災害復旧工事(2工区)	〃
48	人権擁護委員候補者の推薦について	支障なし
49	平戸市副市長の選任につき同意を求めることについて	同意

番号	件名	結果
2	一般財団法人平戸市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	報告済

番号	件名	結果
1	井元宏三副議長に対する問責決議	原案可決

## 賛否が分かれた案件

議案名	議員氏名(50音順)	近藤芳人	井元宏三	綾香良浩	池田稔巳	大村謙吾	岡康則	岡村文雄	神田全記	竹山俊郎	辻賢治	原野育朗	針尾直美	松尾実	松口茂生	松本正治	山内信太郎	山田能新	吉福弘実	賛成・反対	
平戸市副市長の選任につき同意を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	16:1
井元宏三副議長に対する問責決議		除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	14:2

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 「除」…地方自治法117条の規定に基づいて除斥 □…議長(議長は可否同数の場合を除き表決(裁決)しない)

## 設置の主旨

議会の政策形成機能を向上させ、より良い市政を実現するとともに、持続可能な議会運営に資するため、その調査研究について12人の委員をもって構成する議会改革特別委員会を設置する。



- 協議事項
  - ▶議会基本条例の制定
  - ▶議会定数の検討
  - ▶議会経費の検討
  - ▶議員報酬の改定

## 井元宏三副議長に対する問責決議

平戸市議会は、市民の厳粛な信託を受けて市の重要な意思決定を行う市民の代表機関・議事機関である。

議会は言論の府であり、議員の発言は自由であるという前提はあるが、それは全ての発言を許すものではない。平戸市議会会議規則第149条には「議員は、議会の品位を重んじなければならない」とあり、平戸市議会議員政治倫理条例においても、議員の責務として「市民の信頼に値するより高い倫理的義務に徹し、地方自治の本旨に従って、その使命の達成に努めなければならない」としている。議員は品位を損なわないように自らの言動を律しなければならないものである。しかしながら、井元副議長は、自らの一般質問を行う壇上において、大雨が降った話に乗じて「本市の水がめもほっとひと息ついたのではないか。そのせいではないが私の膝の方にも水が溜まった」との発言があった。これは水不足により苦勞していた農家や市民の方の切実な状況を軽視するものであり、本市の重要事項を議論・審議する本議会の中での発言として、議会の品位を著しく損なう発言である。

また、市民の来庁時に支障をきたさないため

の議会の申し合わせ事項である駐車場使用ルールも遵守されておらず、議会の秩序を軽視している。

さらに、一般質問に伴う理事者との調整に関し、市政運営に支障をきたさないよう議会運営委員会において注意喚起がなされたにもかかわらず、依然として改善が見られていない。

法令遵守はもとより、議員間の合意に基づく「申し合わせ事項」は、議会運営を円滑かつ公平な遂行を行うための決定事項である。これを厳守しないことは、議会全体の規律を乱す行為であり、議会の模範たるべき副議長の要職にあるものとしての行為としても断じて容認できない。これは平戸市議会の信頼を失墜させるものであり、本件は、議会の品位を著しく欠き、議会の秩序を乱す行為として看過することはできない。

よって、井元宏三副議長は、猛省するとともに、事態の重大さを真摯に受け止め、平戸市議会議員としての責務を自覚されるよう平戸市議会は強く求める。

以上、決議する。

令和8年3月18日  
平戸市議会

3月18日の本会議において、議会改革特別委員会が設置されました。

# 議会改革特別委員会設置

# 井元宏三副議長に対する問責決議

# 一般質問

## 一般質問とは

議員が市政運営全般にわたり、その執行の状況や将来の方針、考え方などを市側に質し、答弁を求めることをいいます。平戸市議会では定例会毎に実施しており、答弁時間を含めて、1人あたり60分の持ち時間が与えられています。



3月定例会では、2月26日～3月2日の一般質問で11人の議員が登壇。行財政運営や産業振興、人口減少対策などの課題への対応策や今後の計画・進捗などについて市の考えを質すほか、議員それぞれの視点からの提案などについて議論が交わされました。

※各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧になれます。  
※文責はいずれも本人です。

## 工業団地整備事業の必要性を問う 本庁舎の耐用年数の現状は

是非の会 池田 稔巳



録画放送

**議員** 令和2年の工業団地企業誘致後、今回新たな工業団地整備を予定しているが、見積もりの甘さや昨今の経済状況の影響などもあり大幅な事業予算の増額になっている。さまざまな現況の中、市長としてはどう考えているのか。  
**市長** これから分譲までの予定は、令和9年度までに整備工事を終え、令和10年度から分譲を開始したいと考えている。

ている。また視点が欠落していた地元企業への誘致活動も平戸市商工会、平戸商工会議所を通じて話を伺いながら進めたい。  
**議員** 本庁舎の耐用年数と今後の計画はあるのか。  
**総務部長** 令和8年度に市庁舎も築50年となるので、電気設備や水道設備調査を8年度中に行う。建設費用や基金の考え方についてはまだ今のところない。

**議員** 議会としては多くの地元雇用を期待して工業団地事業を認めてきた経緯がある。令和3年誘致の企業においても50人の目標が15人程しか達していない。また地元企業への誘致や営業も不足していると思われる。新たな感覚と十分な工業団地事業の必要性についての説明を求めたい。  
**文化観光工部長** 雇用に関しては、新型コロナウイルス感染症や関税の問題もあったが、令和8年度には新事業展開で雇用増の話も聞いて



工業団地建設予定地(田平町)

## 目的を明確に戦略を

新波クラブ 針尾 直美



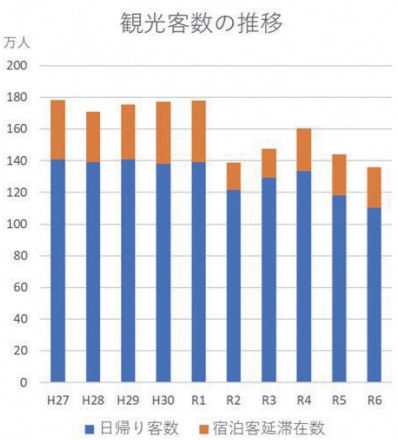
録画放送

**議員** 令和6年の観光客数が、コロナで落ち込んだ令和2年よりも少ないのはなぜ。特にインバウンドの回復が遅れている要因は。  
**文化観光工部長** 最大の要因は、団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化。今後は、時代のニーズに応じた誘客施策の展開やDX化に努め、インバウンド対策としては、デジタルノマド誘客を強化し、プロモーション活動や環境整備を進める。

の支援も模索し観光商店街の再生に取り組んでいく。  
**議員** いきいきおでかけ券は、移動手段に対する利用がメインとなっており、外出機会の拡大と社会参加、健康増進を促すという目的からすれば、外出の動機づけとなることに利用できてしかるべきではないか。

**議員** 平戸の玄関である城下町エリアの商店街は、後継者不足や住民の買物行動の変容によってにぎわいが低迷しているが、同じ悩みを抱えながらも活性化に成功している事例がある。実践的な取り組みとそれを支える政策体系が必要ではないか。

**文化観光工部長** 商店街の当事者との対話を行っていき、さまざまな課題を共有しながら、優良事例も参考に、中小企業庁など



**福祉部長** 本事業だけでの対応に限界を感じる。今後、高齢者のニーズ調査などで必要な支援を精査し、事業そのものの抜本的な見直しも視野に入れて検討を行いたい。

**議員** 職員数の増加している  
**議員** 職員の給与は増加している  
**議員** 職員数の増加している  
**議員** 職員の給与は増加している

**議員** 中学校の学校給食について市の予算を使い無償化する考えはないのか。  
**教育次長** 市の財政状況では困難であるため、中学生の無償化についても国県に対して要望する。



給食週間の郷土料理給食の例

適正な人事を進めるにあたって  
学校給食の無償化は

政和会 岡 康則



録画放送

**議員** 市政を推進できる職場環境づくりのために人事は重要である。人事に対する市長の基本的な考え方は。  
**市長** 適材適所と目的型の組織づくりのため、縦割りを越えた機動的な体制をつくりたい。

**議員** 早期退職者が22人、休職者の内メンタルの不調を訴える職員が17人と驚くほど増加している。市としては大きな損失であるがその対策は。  
**副市長** 悩みや課題を1人で抱えこませない風通しの良い職場づくりとDXなどで事務効率を高め、職員が自らの成長を実感でき、誇りを持つ組織をつくる。

**議員** 4月から小学校の学校給食が無償化されるが内容は。  
**教育次長** 保護者の負担の軽減のため、公立小学校等の児童を対象として保護者の所得に関係なく実質無償化となる。

金融教育と部活動地域展開

新時代 山内 信太郎



録画放送

議員 これからを生きる子どもたちは金融リテラシーの習得が不可欠である。詐欺被害を踏まえ、消費者教育の充実も重要と考えるが平戸市の金融教育の現状と今後の方針を問う。

教育長 小中学校では担当科目で金融教育を実施している。契約や消費行動などを学び、詐欺対策としてクーリングオフ制度なども指導している。今後は外部人材の活用も含め充実を図る。

議員 金融教育において外部機関との連携、教員への支援体制は十分か。

教育長 出前授業や模擬会社運営など取り組んでいるが、教職員全体への専門的研修は不十分。今後の課題として研究を進める。

議員 部活動の地域展開について、進捗状況と課題を問う。

教育長 令和8年4月から休日の地域展開を予定しており、一部クラブで移行が進んでいる。指導者に

については引き続き人材発掘が必要である。

議員 保護者負担や機材整備への支援は十分か。

教育長 補助金制度を活用し初年度から支援している。今後は生活困窮世帯への支援も検討する。

議員 夜間活動の増加に伴うナイター設備不足への対応を問う。

市長 現時点で新設計画はないが、使用料減免などで支援する。今後の地域展開の進捗を見ながら検討する。



部活動の地域展開のイメージ

消防出張所の配置計画および常備消防の必要性は

是非の会 松尾 実



録画放送

議員 令和6年の12月に平戸市消防出張所配置計画が策定されたが、令和8年度当初予算にその関連した予算の上程がされていないのはなぜか。

市長 南部地区の課題を直視し、財政、人員、計画の三位一体で整合性を図り、関係者や地元の皆さんの意見を伺った上で、課題の深刻さは重々理解しているため、決して放置することはない。

消防長 今後の財政見通しや消防職員の確保、中南部地区消防体制方針の決定プロセスに関する見解が示され、消防本部としても人事や財政部門と協議を行いながら計画を進める。

議員 消防団の団員数の今後の見込み、そして常備消防の必要性はどのように考えているか。

消防長 令和8年2月1日現在、消防団員数は957人である。3年前の団員数は997人であり、3年間で40人、率にして約4%の減



令和8年平戸市消防出初式での一斉放水

アルベルゴ・ディフゾタウン 事業の現況と展望

政和会 辻 賢治



録画放送

議員 アルベルゴ・ディフゾタウン事業について、これまでの実績、経済効果を問う。

文化観光工部長 宿泊施設3棟(客室数7室・最大24人)が完成。稼働率は約2割だが、施設の拡充、事業者間の連携・情報発信の充実で、稼働率向上・経済効果拡大につなげる。また、宿泊・飲食・買い物などの消費額から試算した経済効果は約3千万円。メディア露出などの効果も見られる。

議員 それは十分な効果なのか。文化観光工部長 地域経済全体への波及効果には課題が残る。

議員 モデルの充実は大事だが、人により結果が大きく変わる。人材の重要性を念頭に経済効果のある戦略をしてほしいところだが、今後の計画と展望は。

文化観光工部長 令和8年度、宿泊施設2棟を改修予定。また事業者のおもてなし事業で、基盤整備や宿泊飲食の充実を図る。

観光行政における課題を問う

新時代 原野 育朗



録画放送

議員 観光産業は、本市にとって基幹産業のひとつであるが、令和6年の観光客は約135万人であり、減少傾向である。市として現状をどのように捉えているのか。

市長 令和4年の一時的な回復から一転し、再び減少に転じている状況であり、本市の観光産業を取り巻く環境は厳しいものがあると認識している。

議員 本市の重要事業である「アルベルゴ・ディフゾタウン推進事業」の現状はどうか。また今後どのように取り組むのか。

文化観光工部長 現在の宿泊施設は3棟7室、最大24人の受入体制で、稼働率2割、国内観光客8割、インバウンド観光客2割の割合である。今後は宿泊施設2棟の整備を進め、環境の充実と稼働率向上を図る。また、事業者間の連携強化や情報発信の充実に取り組み、成果を上げていく。

議員 西九州自動車道平戸ICか



西九州自動車道平戸IC

ら平戸大橋に向かう道路に平戸市の観光施設へ観光客を誘導する案内標識が全くない。早急に設置する必要があると考えるが、どうか。文化観光工部長 平戸ICを利用する観光客の円滑な誘導を図るため、関係する自治体と連携し、道路管理者である県に対し、広域的な視点に立った観光案内標識の設置を要望していきたい。

### テレビ難視聴地域への対応と 広報紙・回覧板閲覧のあり方を問う

新蒼会 井元 宏三



録画放送

**議員** 平戸市内に地上波テレビの難視聴地域はどのくらい存在するのか。また、当該地域へ平戸市から支援は行っているのか。

**総務部長** 市が把握している施設は、難視聴地域を含めて29施設ある。難視聴地域の対応を含めてテレビ放送の受信に関する戸別支援は行っていない。

**議員** 市内に29施設もあるということであれば、このままでいいのかという疑問が残る。緊急放送の周知が遅れる可能性もあり、防災の観点からも、市で管理してもらえないかという声があるが、今後、何らかの支援を考えるべきでは。

**市長** 防災の観点からの市による共聴施設の管理については、民間施設である共聴施設を新たに市が管理することは難しいと考えている。

**議員** 広報紙や市からのお知らせなどの配布物について、紙の配布を希望しない人もおられると聞いている。

### 寄附事業の課題と 防護柵運用改善

新時代 大村 謙吾



録画放送

**議員** ふるさと納税における寄附額の現状は。

**市長** 中間事業者に業務委託し、寄附額の増加を図ったが、本年度見込額は約3億8千万円である。

**議員** なぜこの結果か。  
**財務部長** 代表的な返礼品が選定できず、年間を通じてニーズに応じた量を提供できる返礼品が少ないことも要因。

**議員** 私の認識とは異なる。行政側が知見を蓄積せず外部に丸投げした結果、主体的コントロールを失ったことが大きな要因と思う。その結果、移行時に蓄積データを消失した。以前の中間事業者との移行はスムーズに出来たか。

**財務部長** 概ね予定通り移行できた。掲載した画像やレビュー等は契約上、旧中間事業者に著作権があり、契約終了時に全て消去された。

**議員** 基金に依存した事業拡大は結果無責任であり、これまでの市政運営の課題が表れた。新市長の

ている。嘱託員や各家庭への配布者の負担軽減、廃棄物や経費削減の観点から、LINE配信やホームページ掲載閲覧で、ペーパーレス化に対応できないのか。



平戸市ホームページ



平戸市公式LINE

新たなリーダーシップによる行財政改革が不可欠。

**市長** 行政内部に専門的な知識を高め、中間事業者や提携団体などと協議し、独自の契約や組織体制を研究しV字回復に向け取り組む。

**議員** イノシシなどの鳥獣被害防止のための防護柵(ワイヤーメッシュ)について、納入遅延の改善と柔軟な運用を求める。

**農林水産部長** 事務の遅れで納品が1カ月半遅延した。令和8年度は秋頃納品を目指す。また、柵の設置期間の根拠となる14年ルールは長期間の取り組みとなるため、柔軟な対応を国や県へ要望していく。



ワイヤーメッシュ設置例

### 市長が取り組む施策と 田平地区における消防行政を問う

新波クラブ 吉福 弘美



録画放送

**議員** 市長は、「第一次産業は平戸市の基幹産業であり、力を入れていかなければ」と発言しているが、考えを伺う。

**市長** 産業を守り育て稼ぐ力へと確かな成長軌道へ乗せることを最重要課題の1つに掲げている。農林水産業に携わる皆様の声を伺うと、高齢化や担い手不足、耕作放棄地などの課題は深刻であり、解決する為、地域営農法人や漁業協同組合との連携強化、後継者育成制度の充実に取り組む。

**議員** 施策を実行する、形にするために権限を持たせた人材が必要ではないか。

**市長** 幹部職員などを含めながら、幅広くいろいろな可能性を取り入れ対応する。

**議員** 資材高騰で初期投資が大きく、就農できない状況のようである。また、離農が進んでいくが、空き家バンク同様、市の農業版として施設のバンク制度を設立して



消火栓の例

### 離島に安心の医療体制を 平戸農業の活性化へ向けて

日本共産党 岡村 文雄



録画放送

**議員** 大島・度島で人工透析が可能とならないか。

**市民生活部長** 高額な医療機器や専門的な人材配置が必要。診療所での対応は困難。

**議員** 交通船欠航時、透析患者の本土宿泊の対応は。

**財務部長** 欠航に伴う宿泊費の半額を補助している。令和6年度の実績は5万2千円。

**議員** 離島在住のため発生する負担、全額支給にできないか。

**市長** 公平性を踏まえ検討する。  
**議員** 国道383号線、鞍掛バス停5年間64件の交通事故が発生。特に大野・大山バス停付近に集中しており、地区が長年改修を要求している。併せて、鞍掛バス停川内峠登り口バス停間の歩道についても県に設置要望できないか。

**建設部長** 県の設計協議で地元の声を伝える。また、要望書が提出された際は、市として県へ「要望する。

はどうか。

**農林水産部長** 県やJAと情報を共有し、データバンク化して関係機関と協議し前向きに検討したい。

**議員** 田平北小学校校区に新しい住宅が建設されているが、防災の対応は。また、消防車両の入れ替えは。

**消防長** 平戸大橋からさつき観光間には水道管が埋設されていないため、消火栓の配置は厳しい。市内には63台の消防車両がある。通常20年〜24年をめどに更新する方針としている。



農地の改良が進む基盤整備事業

**議員** 農家の子どもを地域に残す対策を。玉葱・馬鈴薯を兼業農家も生産できるように集荷場整備・出荷作業の簡素化を図りブランド化を目指し推進してほしい。

**農林水産部長** 生産部会と連携し産地に合った振興策を研究する。

**議員** 水稻裏作交付金の増額、水の所得補償の復活を求める。

**農林水産部長** 交付金は地域再生協議会で検討し、所得補償は国や県に働きかける。

**議員** 県内6市町が中学校の学校給食費無償化を実施。平戸市でも無償化すべきでは。

**市長** 国・県の支援拡充を求めていく。